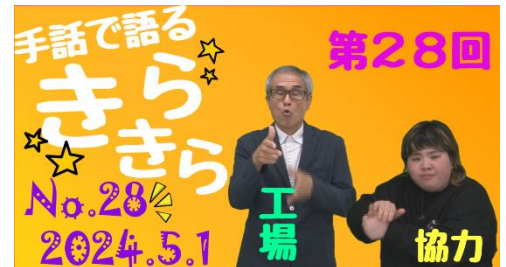


みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

### 手話で語るきらきら

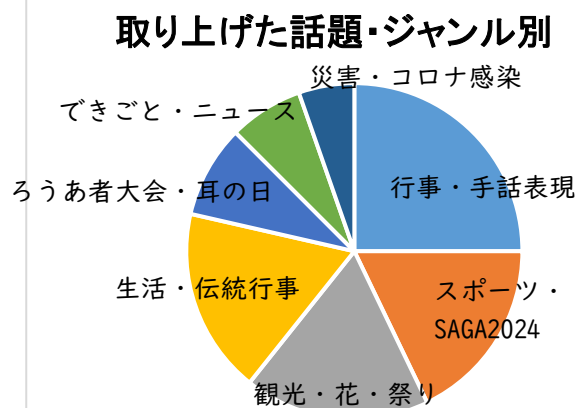
＝手話言語をろう者の言語として ろう者により発信する試み＝

サポートセンターでは、ろう者の手話キャスターの動画撮影を令和4年1月から、毎月1回配信し、好評を得ています。4月までで28回（30テーマ）になりました。



#### I 28回のあらまし

- ① 1番多く取り上げたのは、  
「ろうあ者の行事、手話表現」14回  
2番目は・生活や地域の伝統行事  
・祭り、花だより、観光  
・スポーツ、SAGA2024 が、同数10回  
次いで、ろうあ者大会、みみの日 5回  
できごと、ニュース 4回  
災害、コロナ感染症 3回 でした。



②キャスターは、坂本和也さん、伊藤江梨花さん、三瀬暉央さんでスタート。今年4月から副島肇さんが加わりました。それぞれの得意分野や独特の持ち味がキャスターとしての重層化を醸し出しています。

#### II キャスター研修会

##### <みせる、読ませる工夫のポイントについて>



全国の情報提供施設映像部会の役員を務められている長崎県聴覚障害者情報センターの山下達郎さんに来館いただき、映像企画の作り方について研修会を3月24日に実施しました。

- まず、心構えとして準備8割、撮影1割、編集1割
- ・「好き」と「ニーズ」のマッチング。
- ・テーマとモチーフの不変のコンセプトによりネタはつきない。
- ・「パクリ」と「縛り（テーマの選定と自由度）」と「組み合わせ」により動画撮影の企画を立てる。

- 次に、・A I との共同作業
- ・わかりやすさを徹底して重視する。  
（わかりやすさ絶対主義＝手話の動き、シナリオの内容）
- ・思い入れ、愛情は、ほどほどにする。
- すべてはあとからついてくる  
まずは実践あるのみ、やってみる。  
必要な技術は、試行錯誤の過程で身につく。  
※山下さん自身の体験を交えて、わかりやすく、実例を使つての研修会となりました。



いずれのキャスターも、はじめの頃のぎこちなさや固さもほぐれ、最近では楽しみながら役割を務められています。魅力ある「手話で語るきらきら」になるよう、視聴される皆様からの感想や関心のあるテーマ等についてセンターまでお寄せください。



坂本和也さん



伊藤江梨花さん



三瀬暉央さん



副島肇さん

## 役に立つ 新シリーズ【22】

第22回は70歳代女性からの相談です。

2年前に補聴器を購入。購入当初は、外出時に装用、調整のため購入元へも行っていました。補聴器を装用しても言葉がはっきりと聞きとれないことがある、独居のため自宅で必要性を感じない、装着が面倒などの理由から徐々に装用しなくなりました。

### 根気よく聴覚リハビリテーションを



補聴器をつけてすぐは音が大きくうるさく聞こえたり、生活騒音が気になったりします。音の聞こえていない状態に慣れてしまった『難聴の脳』に最初から十分な音量を聞かせると辛いので、慣れないうちは補聴器の増幅を抑え気味にし、徐々に音量を上げていきます。

また、自分の耳で聞いていた時と、補聴器の聞こえは同じではありません。少しずつ補聴器からの聞こえに脳が慣れてくると色々な音の中から必要な音を選び出せるようになります。これを聴覚リハビリテーションと言います。そのためには、①外出時だけでなく、入浴と睡眠時以外は一日中補聴器を装用する ②時々補聴器店に通って、補聴器を生活環境の中で上手に使っていただけるように調整してもらうことが大切です。

女性からは後日連絡があり、センターでの聴力測定結果を持って購入元へ行き、調整をお願いし、毎日装用するように心がけている、とのことでした。



## お知らせ

### 巡回聴こえの相談 (10:00～15:00)

5月24日(金) 太良町総合福祉保健センター  
しおさい館

6月18日(火) 白石町役場 相談室1

### ろう者向け日曜教室

『今年の梅雨の見通しと災害への備え』

5月26日(日) 10:00～12:00

佐賀商工ビル4階 大会議室

### 聴こえのセミナー

『聞こえるしあわせ』

～耳の聞こえの低下と補聴器について～

7月20日(土) 10:00～11:30

佐賀商工ビル7階 大会議室

### 聴こえのセミナー

### 新しい補聴器とのつきあい方

(聴こえのセミナー3月16日センター研修会議室)

講師：ワイデックス(株)マーケティング部

部長葛西宏樹氏 認定補聴器技能者



難聴の主な原因はもちろん「加齢」。しかし、ここ最近は若年層にも聴覚障害の危険性が増えている。将来的に世界の12～35歳の若い世代の半数以上が難聴になるリスクがある。(スマホの長時間使用)



### 難聴が引き起こす問題点

- ・家族とも必要最低限の会話しかなくなる。
- コミュニケーションの断絶による疎外感
- ・話しかけられても返事をしない。一方的に会話をする。

→無視されたと誤解を生んでしまう要因につながる。(人間関係の悪化)

人と話さなくなるリスク 会話がなくなるリスク

### 難聴を改善する手段としての補聴器

補聴器は、難聴を治療するものではなく、若い頃の聞こえが戻るというものでもない。

積極的に使いこなすことで生活の質が改善可能である。◆家族とのコミュニケーション ◆心理状態の改善 ◆安全の確保 ◆仕事や趣味への意欲 ◆集団活動への参加

### 補聴器の購入に戸惑いを感じてしまう理由

- ・購入のための初期費用を負担に感じる
- ・補聴器が自分に合うか 使いこなせるか心配
- ・購入後いつまで使えるか心配
- ・メンテナンス費用もどれくらいかかるのか心配

近年の補聴器、特にここ10年の補聴器の各メーカーの進化はめざましいものがあり以前に比べて格段に便利に使えるようになった。しかしながら、補聴器はあくまで聞こえをサポートする器械であり、補聴器装用を習慣化すること、補聴器の音に慣れること、補聴器を定期的にメンテナンス・調整すること、このような使用者の努力や頑張りが必要なのは変わらない。

また、医療機器であるため補聴器の価格は高額であることも知られているが、現在は各メーカーの価格幅が以前よりも広がっている。

例：ワイデックス 片耳85,000～610,000円

月々3,600円から使用できる

定額プランもあります。

編集後記：新緑が美しいですね！



## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

### <開館時間>

9:30 ~ 18:00

### <閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始